

稲作情報 号外 ウンカ対策について

平成29年9月20日

J A む な か た
北筑前普及指導センター

本年度は晴天が続き、気温が高いためにトビイロウンカの増殖に好適な条件が続いており、福岡県農林業総合試験場からは発生予察注意報が出ています。宗像でのトビイロウンカ調査では、発生ほ場率26%、株当頭数0.17頭と要防除水準(100株当たり1000頭以上)には至っておりませんが、県下の他地域ではトビイロウンカが急激に増殖しているほ場も確認されています。発生が少ないほ場でも、9月下旬以降気温が下がってくると、トビイロウンカが密集し、坪枯れを起こす可能性があるため、ほ場巡回を徹底し、発生状況の把握に努めましょう。

※夢つくしは現在、収穫中であり農薬の使用時期に間に合いませんので、トビイロウンカが見られる圃場では早めに収穫をしましょう。

※ツクシホマレ、ヒヨクモチに関しては、ほ場の株元を確認しトビイロウンカが見られる場合は下記表を参考に早急に防除をしてください。

体系	薬剤名	散布量 (希釈倍数)	散布時期
粉剤	・キラップ粉剤DL	3~4kg / 10a	収穫14日前まで
	・スタークル粉剤DL	3kg / 10a	収穫7日前まで
液剤	・キラップフロアブル	60~2000 (2000倍)	収穫14日前まで
	・スタークル液剤10	60~1500 (1000倍)	収穫7日前まで
粒剤	・キラップ粒剤	3kg / 10a	収穫14日前まで
	・スタークル豆つぶ	250g / 10a	収穫7日前まで

※キラップ粉剤DL、キラップフロアブル、キラップ粒剤は、収穫14日前までしか散布できません。収穫14日前~7日前に防除を行う際は、スタークル粉剤DL、スタークル液剤10、スタークル豆つぶをご使用ください。

※トビイロウンカは株元に生息しています。防除に当たっては、薬剤が株元まで届くように散布してください。深水状態にするとウンカが上部に移動してくるので、薬剤がかかりやすくなります。また、昼間は気温が上がり上昇気流が起きやすいため、朝か夕に散布を行いましょう。